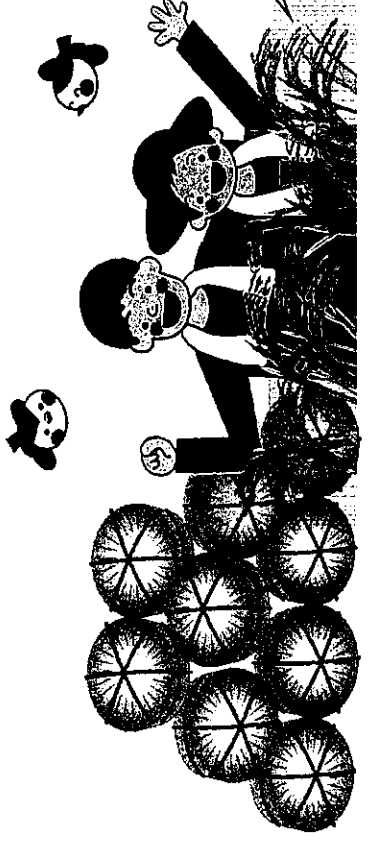


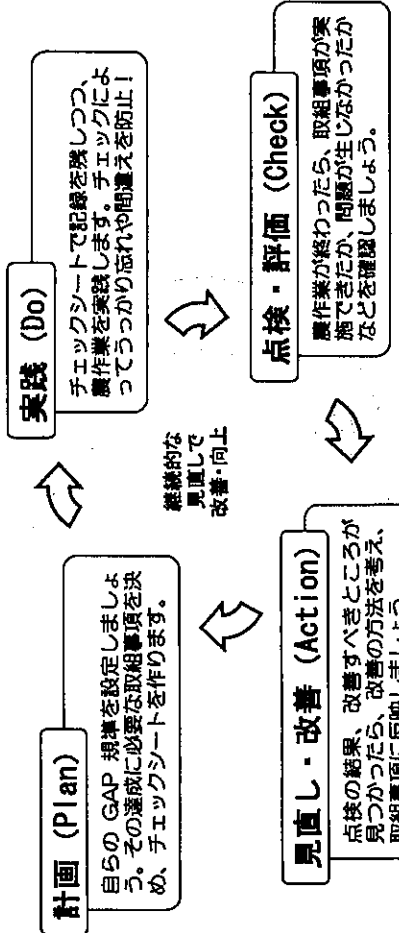
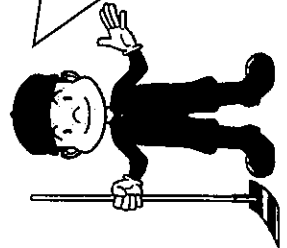
作業終了後の記入を徹底  
しましょう。  
記入漏れやGAPシート  
のチェック漏れに注意  
しましょう。



- J A 米 の 条 件**
- ① 品種が確認できた種子により栽培した米穀
  - ② 登録検査機関で受検された米穀
  - ③ 栽培記録簿の記載内容をJAが確認し適切であると認められた米穀

良い農業の実践  
Good Agricultural Practice で、安全・安心みな米を消費者に

上記3つの視点から農業生産活動に潜むリスク(危険)を事前に把握・分析しておき、リスクの発現を未然に防ぐことで、結果として『良い』農業生産活動とする取組みが『GAP』です。



「計画」に対し「実践」、「点検・評価」、「見直し・改善」を繰り返す「PDCAサイクル」を用いた工程管理を行っていただくことがGAPの実践になります。

**「GAP」の実践**

**「とやまGAP」の導入のやり方**

- ① 安全安心の生産  
生産した農産物の味・香り・見た目によって安心感が伝わる
- ② 生産者の安全が確保されているか  
農産物の安全の確保が第一
- ③ 生産者の安全が確保されているか  
生産者の安全が確保されているか

**令和6年産米  
栽培記録簿  
(GAP確認シート付)  
～JA米基準～**

氏 名		地 区	生 産 組 合
住 所 ・ 電 話		富山県下新川郡	
品 種 名		TEL ( ) ( ) ( )	
出 荷 区 分		出荷契約米 ・ 加工用米 ・ 備蓄米 米粉用米 ・ 輸出用米 ・ 飼料用米	

- ★ 提出は、収穫後、出荷前までお願いいたします。  
(直播栽培は別紙様式で提出)
- ★ 出荷の有無を問わず、生産者全員記録簿・提出をお願いします。
- ★ 作業を終えたら、忘れずに記録しましょう。

**JAみな穂**

**令和6年産米 栽培記録簿・GAPチェック①**

種 別	購入先: JA	その他 ( )
	数量:	kg (消毒種子 ・ 未消毒種子)
苗	播種日:	月 日 ~ 月 日
	購入先:	箱 (内苗箱施薬入)
栽 植 密 度	数量:	株 数:
	数量:	株 数:
区分	作業名等	作業月日等
本田管理	耕 起	月 日 ~ 月 日
	荒 代 か き	月 日 ~ 月 日
	代 か き	月 日 ~ 月 日
	田 植 え	月 日 ~ 月 日
	中 干 し	月 日 ~ 月 日
出 穂	期	月 日 ~ 月 日

作 業 名	作 業 月 日
収 穫	月 日 ~ 月 日 (個人・委託)
乾燥・調製	月 日 ~ 月 日 (個人・委託)
出 荷 日	月 日 ~ 月 日

※JA記入

記録簿確認	安全安心担当者	課 長
確認者氏名 (地区担当者)		

JAみな穂 栽培記録簿

検索

ホームページからダウンロードもできます！

# 令和6年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート②

氏名

品種	出荷契約米・加工用米・備蓄米
面積	米粉用米・輸出用米・飼料用米

※設問に該当する場合は、右側のチェック欄に✓を記入して下さい。

【 作付け計画 】

農事座談会への参加やパンフレット(営農情報、稲作ごよみ等)の活用などにより情報収集しましたか。	3月
経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。	3月
自家採取種子を使用せず、品種ごとに区別して作業しましたか。	4月

【 土づくり 】

土づくり資材(ケイ酸資材等)や有機物(堆肥、緑肥等)の施用による土づくりを行いましたか。	4月
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。	前年11月～

【 肥料の適正使用 】

基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。	5月
生育量に応じて、適正に追肥(穂肥)を施用しましたか。	7月
【とやまGAP18】肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記録をしましたか。	随時
【とやまGAP34】	

【 登熟期間の湛水管理 】

出穂期から20日間の湛水管理(田面水の深さ2~3cm程度)を行いましたか。(稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制)	8月~9月
【とやまGAP31】	

区分	農薬名	使用月日	希釈倍数	使用量		
除草剤	かねつぐ1キロ粒剤(初期)	月 日~	—	kg/10a		
		月 日~	—	/10a		
	プライオリティ1キロ粒剤(一発)	月 日~	—	kg/10a		
	プライオリティ豆つぶ250	月 日~	—	g/10a		
	アクシズMX1キロ粒剤	月 日~	—	kg/10a		
		月 日~	—	/10a		
		月 日~	—	/10a		
	①ブラシントレバリダ粉剤DL(共通)	月 日~	—	kg/10a		
	②ラブサイドキラップ粉剤DL(共通)	月 日~	—	kg/10a		
	③スタークル粉剤DL(早生)	月 日~	—	kg/10a		
粉剤	①モカトプロアブル+トポソEW(早生)	月 日~	倍	kg/10a		
	①モカトプロアブル+トポソ液剤10(中生、晩生)	月 日~	倍	kg/10a		
	②ラブサイドK2フロアブル(共通)	月 日~	倍	kg/10a		
	③スタークル液剤10(早生)	月 日~	倍	kg/10a		
	液剤	①モカトプロアブル+トポソEW(早生)	月 日~	倍	kg/10a	
		①モカトプロアブル+トポソ液剤10(中生、晩生)	月 日~	倍	kg/10a	
		②ラブサイドK2フロアブル(共通)	月 日~	倍	kg/10a	
		③スタークル液剤10(早生)	月 日~	倍	kg/10a	
		無人へり	①モカトプロアブル+トポソEW(早生)	月 日~	倍	0.8kg/10a
			①モカトプロアブル+トポソ液剤10(中生、晩生)	月 日~	倍	0.8kg/10a
②ラブサイドK2フロアブル(共通)			月 日~	倍	0.8kg/10a	
③スタークル液剤10(早生)			月 日~	倍	0.8kg/10a	
ドローン			①モカトプロアブル+トポソEW(早生)	月 日~	倍	0.8kg/10a
			①モカトプロアブル+トポソ液剤10(中生、晩生)	月 日~	倍	0.8kg/10a
	②ラブサイドK2フロアブル(共通)		月 日~	倍	0.8kg/10a	
	③スタークル液剤10(早生)		月 日~	倍	0.8kg/10a	

本田防除(防除方法を○で囲って下さい)

【 農薬の適正使用 】

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量・時期・回数を守って使いましたか。	随時
【とやまGAP25,27】	
農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。	随時
【とやまGAP9】	
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。	5月~6月
【とやまGAP17】	
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。	随時
【とやまGAP30】	
動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。	随時
【とやまGAP26】	

【 廃プラスチックなどの適正処理 】

肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。	随時
【とやまGAP35】	

【 燃料の適正管理 】

燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。	随時
【とやまGAP33】	

【 収穫・乾燥・調製 】

コンバインや施設内等の清掃・点検を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。	8月~9月
【とやまGAP37】	
稲穀化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。	8月~9月
【とやまGAP39】	
米穀収穫後、乾燥は適切な温度管理で行いましたか。	9月~
【とやまGAP40】	
玄米の出荷容器の記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。	10月~

その他取組作業のチェック項目(該当作業にチェックをお願いします)

<input type="checkbox"/> 農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。	<input type="checkbox"/> 専用機械で肥料を田植と同時にもたらしている。
<input type="checkbox"/> 専用機械で苗箱施肥を播種と同時に施用している。	<input type="checkbox"/> 専用機械で除草剤を田植と同時に施用している。
<input type="checkbox"/> 専用機械で苗箱施肥を田植と同時に施用している。	<input type="checkbox"/> GPS機能付きの田植機で田植作業を行っている。
<input type="checkbox"/> スマート農機の活用(水管理システム・GPSコンバイン・Z-GIS等の営農管理システム)	<input type="checkbox"/> 土壌診断を踏まえた施肥・土づくりを行っている。